



# 美しい森林づくり

## 木質資源を無駄なく使い 地元の森林を美しく

### 庄内森林管理署

庄内森林管理署の管轄区域は山形県西部の2市3町で、約9万2,500haの国有林を管理経営しています。

#### 研修会を開催し庄内町林業振興協議会委員と意見交換

出羽三山の一つである月山を源と発する立谷沢川と、これが合流する最上川沿いに細長く広がる庄内町（平成17年7月に余目町と立川町が合併）は、森林率が6割で、同町の森林のうち4分の3を国有林が占めています。

この庄内町には、森林整備精通者、林業家、森林所有者、木材加工関係者などからなる林業振興協議会があり、当署もオプザーバーとして参画しているところだ。



月山から庄内平野まで広がる庄内町

他にも  
間伐材の  
利用、市  
況の推移  
の推シ、  
コンテナ  
苗を用い  
た場合の  
功程や従  
来の植付  
け方法と  
の違い、  
さらには

平成28年度に第五次国有林野  
施業実施計画の予備編成を行う  
当署は、山林所有者の意見を反  
映した林業振興のための計画を  
策定したい意向を持つ庄内町と  
の調整を重ね、「これからの林業  
の考え方」をテーマとした研修  
会を開催するごとなりました。

3月11日（金）、当署会議室に  
集まった協議会委員は10名（+  
庄内町職員1名）。前半は、当  
署職員が各種資料を用いて森林・  
林業・木材産業の現状と課題、  
素材生産や造林・保育のコスト  
削減方策を中心に説明しました。  
協議会委員は、高性能林業機  
械を使用した作業システムや、  
国有林で行う伐採から販売まで  
の仕組みについて強い関心を持  
ち、近年における林業の進歩を  
実感した様子でした。

コスト面についての質問が  
出され、署職員がこれに丁寧に  
答えました。  
また、後半の意見交換では、「小  
規模林家が多く、施業コストが  
掛かり増しになっている」「高  
齢化により山林を維持管理して  
いくことが難しくなっている」  
等の意見が出されました。こ  
のように、出席者がお互いに現  
状を理解するとともに課題を共  
有することができ、有意義な研  
修会となりました。



美しい森林づくりへつながる第一歩

#### 市町との連携で地域林業の活性化と森林整備の推進を

ところで、当署管内では、私  
立羽黒高校の校舎や鶴岡市役所  
の羽黒庁舎を木造で建築する工  
事が始まっています。庄内町役  
場の庁舎建替えに際しても木材  
の利用が予定されており、これ  
らの建築等が増えれば、一般材  
の需要が伸びることが見込まれ



立谷沢川沿いに広がる豊かな森林

ます。  
一方、大手製材会社や管内の  
3つの森林組合などが共同で出  
資した木質バイオマス発電所  
（1,995kw）が鶴岡市下山添  
に完成し、平成27年12月18日  
から本格稼働を開始しました。  
この動きに伴い、庄内地域周  
辺では低質材の需要が高まって  
おり、木材資源を無駄なく利用  
するだけでなく森林整備を効果  
的に進め、林地からの枝条等の  
流出を防止できることから、安  
全の確保にもつながるものと期  
待されます。  
庄内町との研修会は一例です  
が、当署では今後とも各市町と  
連携しながら森林・林業に関す  
る情報収集を行うとともに意見  
を交換し、地域林業の活性化や  
民国が一体となった森林整備の  
推進、美しい森林づくりにつな  
がるよう努めていきたいと考え  
ています。